

エンジンオイル

交換大丈夫！？

走行中の車から炎が！！

エンジンオイルの点検不足による**火災**が発生しています。



1. エンジンオイルが劣化すると不溶な劣化物質が発生し、これがエンジン内部に堆積することにより、オイルストレーナ等を目詰まりさせてオイルの循環が悪化すると考えられます。
2. エンジンオイルが劣化している状態でエンジンを使い続けていると、最悪の場合エンジンが焼き付き火災が発生するおそれがあることから、エンジンオイルは一定期間又は走行距離ごとに交換が必要です。



オイルストレーナの目詰まりした様子



エンジンが焼き付き
破損したエンジン

折れたコンロッド小端部
及びシリンダブロック破片

3. エンジンオイルの劣化は、自動車を長期間使用するだけでなく、エンジンが十分温まらない短時間の使用においても進行するため、使用状況に関わらずエンジンオイルの量と汚れを日常点検によりチェックする必要があります。



(エンジンに付いているオイル・レベルゲージを使って量と汚れをチェック)

※エンジンオイルは車両を動かすために非常に重要な役割を果たしています。

細かいメンテナンスで長く安全に乗り続けましょう。